

富士見市議会だより



通常の議会風景

新型コロナウイルス対策を行う議会

「コロナ禍を乗り越えるー議会と市民の絆」

新型コロナウイルス感染症拡大の中、国の特別定額給付金支給に伴う関係予算等の議案審議を行うため5月19日に第1回臨時会が、新型コロナウイルスに伴う政府の緊急事態宣言解除後の6月2日から第2回定例会が開催されました。

3月に開催した第1回定例会では、感染拡大防止の観点から、市政一般質問を取りやめるなどの対応をしましたが、今定例会では18人の議員が、新型コロナウイルス関連の質問を中心に、市政一般質問を行いました。

なお、本市議会としても、市のコロナ禍関連に対する施策を質すだけでなく、市の新型コロナウイルス対策に活用してもらうため、議員報酬等の削減を行うとともに、議員提出議案として「医療従事者をはじめとするエッセンシャルワーカーに対し敬意と感謝の意を表する決議」を提出し、全会一致で可決しました。

コロナ禍の中、市民生活や市内経済等への影響は計り知れないものがありますが、本市議会としては引き続き市と連携して対応してまいります。

【臨時会とは】
定例会のほかに、臨時の必要がある場合に、特定の事件に限ってこれを審議するために随時招集される議会のこと。

【エッセンシャルワーカーとは】
医療従事者、スーパーやドラッグストアの店員、配達員、公共交通機関の職員など私たちが生活を営む上で欠かせない仕事をしている人々のこと。

新型コロナウイルス関連議案に 質疑が集中

この度開催された臨時会・定例会では、市から新型コロナウイルス関連の議案が多く提出され、活発な質疑が行われました。

臨時会においては、国民1人当たり10万円が支給される、国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に係る特別定額給付金関係補正予算（114億618万円）の専決処分議案に対して、支給事務の流れや早期支給に向けての市の対応、DVで避難されている方への支給方法等の質疑が行われました。またスタスク子育て応援特別給付金や中小企業小口融資者向け富士見市セーフティ小口融資等、市の新型コロナウイルス対策緊急支援策関連議案等に対しても、多くの質疑が行われました。

また、6月定例会では、市が経済的な支援として行った「ひとり親世帯臨時特別給付金」や「児童生徒の7月、8月分給食費の無償化」関連議案に対し、実施した経緯や事業の考え方などについて、質疑が行われました。

今後も、新型コロナウイルス関連議案の提出が予定されておりますが、議会としてのチェック機能を果たすとともに、市と連携してコロナ禍問題に取り組みしてまいります。

新型コロナウイルス対策へ 議会費を削減
新型コロナウイルス感染症拡大に伴う市内経済等への影響を鑑み、市の新型コロナウイルス対策への活用に役立てるため、全議員合意のもと、令和2年度議会費予算を削減

議員報酬の削減

議長、副議長、議員の報酬を7月1日から9月30日までの3か月間、10%削減

【削減額 270万1000円】
■行政視察費等の削減
各常任委員会及び議会運営委員会の所管事務調査（行政視察）を中止し、これらに関連する予算を削減

【削減額 132万6000円】

全会一致で敬意と感謝を決議

医療従事者をはじめとするエッセンシャルワーカーに対し敬意と感謝の意を表する決議

新型コロナウイルス感染症の拡大により、小中特別支援学校をはじめ多くの教育機関が臨時休校となり、市民の皆様も感染への不安の中、様々な自粛を重ねる日常が続いている。

こうした事態の中でも、感染のリスクを抱えながらも社会生活を維持するため、エッセンシャルワーカー（生活必須職従事者）と呼ばれる人々が奮闘している。昼夜を問わず感染者の治療や検査を行う医療従事者及びその関係者、ライフラインや物流等の機能を守る人たち、そして子どもたちや障がい者、高齢者を支える人たちである。こうしたエッセンシャルワーカーにより暮らしかろうじて支えられている。

よって富士見市議会は、医療従事者をはじめとするすべてのエッセンシャルワーカーに対して、心から敬意と感謝の意を表するとともに、負担の軽減や考えられる支援に対し

し全力で取り組むことをここに決議する。

【決議とは】
議会が行う事実上の意思形成行為で、議会の意思を対外的に表明することが必要である等の理由でなされる議決のこと。

総合計画検討特別委員会を開催中（中間報告）

現在、市で策定中の「富士見市総合計画」について、議会の意見を反映させるため、特別委員会を設置し、計画内容を審査しています。

市から提示された29の検討項目を3つの分科会に分けて審査を行い、6月2日付で報告書（第1次審査分）を市に提出しました。

今後は、7月から8月にかけて第2次審査を行い、最終報告書を提出する予定です。

富士見市の将来を決める重要な計画となりますので、市議会としても、引き続き慎重な審査を行ってまいります。

○会議の開催状況
《総合計画検討特別委員会》
3月17日（火）、5月13日（水）、6月2日（火）
《分科会》
・第1分科会
5月20日（水）、5月26日（火）
・第2分科会
5月21日（木）、5月27日（水）
・第3分科会
5月20日（水）、5月28日（木）、6月1日（月）

会議録は議会ホームページ及び議会事務局で閲覧できます。

市政一般質問

市民の皆さんの生活にかかわる諸問題や富士見市の課題などについて市議会議員が市に対して質問を行いました。



伊勢田 幸正(日本維新の会)



佐野 正幸(21・未来クラブ)



吉原 孝好(21・未来クラブ)



斉藤 隆浩(21・未来クラブ)



関野 兼太郎(21・未来クラブ)



尾崎 孝好(21・未来クラブ)



津波 信子(公明党)



①再び、18歳成人について

Q 今年春の中学卒業生は「18歳成人」が初適用となる成人式の対象年齢の議論は。

A 社会教育委員会議で議論し、富士見高校生徒や市内中学校PTA役員へのアンケートで8割以上が「20歳」だったことを踏まえて、「20歳」との提言があった。今後、教育委員会と市長部局で調整し、秋には結論を出して周知する。

②9月入学の議論について

Q 全国市長会のアンケートに市長はどう答えたか。

A 賛成・反対・慎重の選択肢の中から「慎重」を選択。

③職員採用について

Q 新型コロナウイルスでアルバイト収入を失った大学生の雇用の機会を市役所で作れないか。

A 会計年度任用職員(従来)の非常勤職員)には大学生も応募可能。現在4名の大学生が学業と両立させながら、市役所や保育所等で働いている。

加藤 清(公明党)



①トイレレトラの導入は他自治体の導入状況は。現在全国9自治体で導入。トイレレトラの導入を。平時の保管場所確保や維持管理等の問題もあり引続き水のないラップ式トイレ等の備蓄を計画的に進める。県と市間での検討は。検討はしていない。今後

①新型コロナウイルス関係について

Q 避難所対策として、密を回避するスペースの確保を。

A 学校体育館以外に教室等の活用を検討。具体的な収容可能人数を算出していく。

②安心して生き生き暮らせるまちづくりに向けて

Q 高齢者の運転免許証の自主返納にあたり、デマンドタクシーの一部割引を。

A 現時点では考えていない。

③高年齢者の孤立・孤食を防ぐ取組として、おとな食堂の創設を。

Q 今後の研究課題とする。

A 今後の研究課題とする。

深瀬 優子(公明党)



県主導の方向性が示されれば、近隣市町と情報を密にし、導入に向け再検討していく。
②小中支援学校の新型コロナウイルス感染対策について
Q 教室の机に囲いを。
A 机上のスペース、落下等の安全性、約800個が必要などの課題がある。今後近隣自治体の対応を参考に飛沫防止シートも含め有効な対策を検討。
③学校図書室と公共図書館の電算化について
Q 導入への取組みについて。
A メリットとデメリットを研究し様々な視点から検討。

①第7期富士見市高齢者保健福祉計画の進捗状況及び第8期計画の策定に向けた課題について

Q 認知症ケア相談体制の強化を行う考えは。

A 認知症地域支援推進員や関係機関と協議を行い、検討を進めていきたい。

②介護職員初任者研修修了者数の拡大を図る考えは。

A 現在は、新たな有資格者の創出だけでなく、潜在的な有資格者の就職率向上の支援も併せて行っていきたい。

③富士見市都市計画マスタープランの策定と南畑地域の土地利用について

Q 南畑地域まちづくり協議会に意見を求める考えは。

A 要望があれば地域に出向き説明を行いたい。

Q 都市計画法第34条第11号適用区域の拡大を継続して行う考えは。

A 現状では拡大は難しい。

①安心安全なまちづくりについて

Q 昨年の台風の教訓から、町会との避難所運営の考えは。

A 窓口を協働推進課とし、今後避難所運営に携わる町会、学校職員、地域対策本部職員と避難所開設の訓練を行う。

②新型コロナウイルス関連について

Q 施政方針の施策の推進に当たり支障をきたす事は。

A 影響もあるが、感染拡大の防止を図り取り組んでいく。現在は市独自の生活支援策や経済支援策を実施。今後も地域経済の立て直しのため、補正予算等を検討していく。

Q 教育行政方針の施策の推進に当たり支障をきたす事は。

A 教育活動計画の変更を余儀なくされる。活動の制限はあるが、授業や行事に工夫を凝らし本来の目的に近づけ、子ども達の成長に努める。

Q 教育活動計画の変更を余儀なくされる。活動の制限はあるが、授業や行事に工夫を凝らし本来の目的に近づけ、子ども達の成長に努める。

根岸 操(市民の絆)



症に対する避難所運営要領を、避難所運営会議で周知徹底する。市民の避難行動は避難所の過密を避けるため、ご自宅の2階以上への在宅避難や、親戚・友人宅への避難の検討をしていただくよう周知する。
Q 感染予防に有効な段階別ベッドの活用について。
A 大変有効であると認識。現在は段階別製パティションでスペースを区切り、学校教室の活用も検討している。
Q 町会等からの要望へは。
A それぞれのケースに応じた適切な支援等に努めたい。

①地域要望を踏まえ、様々な災害への備えについて

Q 昨年の台風を踏まえ、被害が発生した水谷東地域や、荒川の水位上昇により危機感を感じた南畑地域などの安全確保の取組の方向性は。

A 情報提供の充実や避難誘導体制の整備をしていく。

②緊急事態宣言下での活用実績は。

A 昨年同月と比べると、2倍以上のアクセスがあった。

③緊急事態宣言解除後における市役所等の運営について

Q 交代制などの弾力的勤務体制が今後活かせるのでは。

A 活用できるか検討したい。

Q 緊急事態宣言下での活用実績は。

Q 昨年同月と比べると、2倍以上のアクセスがあった。

①新型コロナウイルス感染症対策について

Q 事業者への影響を踏まえ消費の喚起や市内経済の循環に向けた方策として商品券事業も有効と考えるが、見解は。

A 今後の状況も踏まえながら検討していきたい。

②鶴瀬駅前整備事業の件

Q 駅前周辺の駐車場確保が必要と考えるが、見解は。

A 公共用地での確保は難しく、民間駐車場の利用をお願いしていきたい。

Q 公衆トイレの設置は。

A 今後検討していく。

③地域交通網の充実に向けて

Q 近隣自治体との連携の研究を進める上での課題は。
A 既存の公共交通への影響などの検証も必要と考える。

①新たな総合計画の中にSDGsの項目を明記することについて

Q 17の目標を分かりやすく加えることについて。

A 分かりやすく伝えるよう整理していく。

②避難所開設の初期運営を円滑にするために

Q 必要な備品一式をまとめた富士見市版避難所開設キットの配置を。

A 避難所のスムーズな開設が期待出来ることから富士見市版避難所開設キットの試作品を作成しているところであり、配備を進めていく。

③公衆無線LANの環境整備について(Wi-Fi含む)

Q ぱれっとにも整備計画を。

A 整備を研究していく。

し、安全と学びを保障する。
②鶴瀬駅前について
Q 区画整理の進捗状況は。
A 駅前広場は一部を除き用地を確保でき、今年度から整備を進める。ほぼ計画どおり。
Q 集会所の設置は。
A 今後の研究課題としたい。
Q 1号街区公園の進捗は。
A 今年度は自主設計委託を発注、整備は次年度以降予定。
③環境問題について
Q 南むさしの公園のベットの糞対策は。
A 園内砂場に設置した柵は、隙間を塞ぐ等の改善を検討。



新たな給食風景

寺田 玲 (日本共産党)



小川 匠 (日本共産党)



川畑 勝弘 (日本共産党)



上杉 考哉 (21・未来クラブ)



加賀 奈々恵 (草の根)



村元 寛 (草の根)



勝山 祥 (草の根)



今成 優太 (草の根)



①すべての学校給食の食材納入業者にキャンセル補償を

突然の休校により学校給食食材がキャンセルとなり市内業者が困っている。現状は。

2月28日に電話でキャンセルをお願いした。キャンセルが難しく、破棄せざるを得ない3月分496万9060円の食材のみを市が負担した。

3月、4月に発注した食材の契約額はいくらか。

3月は約350万円、4月は約2900万円。

学校給食の食材キャンセル補償に使える学校臨時休業等対策費補助金は「事業者に対して既に発注していた食材にかかる違約金」も対象になる。3月からのキャンセルで収入が途絶え経営が立ち行かない業者が出ている。補助金を活用してキャンセル分の違約金の支払いをするべき。

踏み倒すことはしない。業者が言ってくれば対応する。

①新型コロナウイルス感染症の検査・医療体制について

東入間医師会管内でPCR検査を実施している医療機関名と数を市長に伺う。

そうした情報は県が一括管理しており、市には詳しい情報提供はない。不安な方には県が設置する県民サポートセンターを案内している。

県によると東入間医師会管内にも発熱外来PCRセンターが設置されたとのことだが、具体的な場所等は不明で、受診には連携先登録をしている地域の医療機関からの紹介が必要とのことである。地域のどこの医療機関が連携先なのか市民に分かるようにしてほしいが市長の見解は。

今後、協議する。

②市内事業者への支援を

ふじみ野市や三芳町で実施している市内事業者への給付金を本市でも創設するべき。議論はしている。

①新型コロナウイルス対策について

感染拡大の不安から医療機関の受診抑制が続く、医療介護、障がい者施設の収入や報酬が減り運営が困難。市民の健康や福祉を守る社会保障を崩さないために予算措置を。

持続化給付金や県の中小企業・個人事業主支援金などの支援策があるので予算措置を行う考えはない。

特定検診が6月から11月末までになって一か月短くなつてしまった。市が出来る医療事業所の支援策の一つとして、特定健診を来年3月まで延長できないか。

今回は医師会と協議したのでこのままで行きたい。

所得の減少で医者にかかることが出来ない状況がある。市の独自政策として国民健康保険税の引き下げを。安定的に運営するため引き下げの考えはない。

①新型コロナウイルス感染症対策について

水道基本料金を一時的に無料とすることへの考えは。

支援策として、緊急的な対応が望まれると思われる部分から取り組んでいくという観点から見送っているが、今後更なる経済対策が必要の際には再度検討していきたい。

医療体制の充実や生活支援、感染拡大防止など新型コロナウイルス感染症対策事業に活用するために、基金を創設することへの考えは。

今後の感染拡大の備えとして、現在ある基金との関連を含め調査・研究していく。

災害級の暑さに備えコロナ禍での熱中症対策を。

①ひとり親家庭への支援策を

ひとりで親家庭が直面する住まいの貧困は深刻である。神戸市「ひとり親世帯家賃補助制度」を導入してはどうか。

住宅施策としては、大家さんへの家賃債務補償料の低廉化等の制度を研究したい。

養育費を継続して受け取れる仕組み作りが必要。明石市を例に市が養育費の不払いを立て替える仕組みの導入を。

相談実績をみて研究する。

②外国にルーツを持つ子どもへの支援を

学齢相当の外国人児童について不就学とならないよう取り組むべきでは。

就学状況を把握の上、就学案内を送る取組をしている。

③望まない妊娠をした方への支援の充実を

本市でも望まない妊娠の相談ができる旨の周知を。検討する。

①部活動・学校行事・進路指導・受験指導について

部活動の今後の方針は。校長会などと連携し、また子供の安全性への配慮しながら段階的に再開していく。

学校行事の今後の方針は。学習時間を確保しながら子供達が輝けるよう工夫する。

学校再開後の見解は。体の健康・心の安定・学びの継続の3つを柱に教育成果を確実なものとしていく。

②学校施設の整備について

鶴瀬小学校のシンボル大銀杏を守る為に適正な管理を。計画的な管理をしていく。

勝瀬中学校の正門の辺りに水溜りが出来るが改善を。原因の調査、対策を検討し、解消していく。

③高齢者の皆様へ新しい生活様式の中での支援について

健康維持などへの支援は。現状に合った政策をさらに打ち込んで支援をしていく。

①障がい者支援について

障がい者就労支援施設等からの物品調達を拡大しては。施設との意見交換を踏まえ、取組を周知していきたい。

感染症に伴う減収対応は。減収により、自立が困難な利用者はいない。

②感染症対策について

新型コロナウイルス対策への寄附が増加するのでは。状況によりあり得る。

県が設置している感染症対策基金を設置してはどうか。今は難しいが、収束後に打ち出すことは必要だと思う。

③学校教育について

感染防止のため給食の量を減らしているため、補食を持参しても良いようにしては。状況を見て対応したい。

感染症対策の現状は。消毒はかなり負担である。

学校の消毒作業は、事業者対応など広く力を借りては。幅広い選択を考えたい。

①新型コロナウイルスによる影響を受けて

市内事業者の打撃は大きい。さらなる支援策を。現在行っている支援の延長や消費喚起策を検討する。

市民負担の軽減策として、上下水道料金の減免を。

対象世帯や様々なパターンを調査研究していく。

保育事業者や保育士はリスクのある中で働き続けているが、市との情報伝達の相違も垣間見えた。より一層、事業者へ寄り添い情報交換を行っていくべきではないか。

指摘された通りであり、情報交換をより密にしていこう。

②保育環境の充実を

使用した紙おむつは保護者が持ち帰る事となっている。衛生面や臭い対策、保育士の負担軽減のために、持ち帰らない対策やおむつ処理費の予算をつけてはどうか。

様々な課題があり厳しい。

このたび、全国・埼玉県の各市議会議長会において、長年にわたって地方自治の発展に寄与・貢献したことにより、根岸操議員が表彰され、今定例会において表彰状が伝達されました。



根岸 操 議員

《15年在職》

市政一般質問コーナーリニューアルのお知らせ

今回の議会日より、新たな試みとして市政一般質問コーナーに議員の顔写真と議会中継サイトへのQRコードを掲載しました。スマートフォンやタブレットなどでQRコードを読み取ると、それぞれの議員の市政一般質問一覧や、議場で質問したときの映像を視聴することができます。なお、最新映像の公開には時間がかかる場合もございますので、ご了承ください。

議会映像をインターネットで配信中!

ライブ中継 本会議を生放送

録画映像 本会議終了後1週間程度で配信



または

富士見市議会

検索

次回定例会のお知らせ

9月1日(火)	開会・議案内容説明
9月4日(金)	議案総括質疑
9月7日(月)~ 14日(月)	総務常任委員会 文教福祉常任委員会 建設環境常任委員会
※土日を除く	
9月15日(火)~ 18日(金)	市政一般質問
9月23日(水)	予算決算常任委員会
9月28日(月)	委員長報告・採決・閉会

※日程は変更になる場合もあります



感染予防に手洗い

全会一致可決の議案等

議案番号	議案等の名称	議案番号	議案等の名称
34	市長及び副市長の給与等に関する条例及び富士見市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	52	富士見市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
35	富士見市国民健康保険条例及び富士見市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	53	富士見市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
36	令和2年度富士見市一般会計補正予算(第2号)	57	富士見市道路線の認定について
37	令和2年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)	58	富士見市道路線の変更について
38	工事請負契約の締結について	59	工事請負契約の締結について
39	工事請負契約の締結について	60	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について
40	専決処分承認を求めることについて	61	令和2年度富士見市一般会計補正予算(第4号)
41	専決処分承認を求めることについて	報告1	令和元年度富士見市一般会計継続費繰越計算書について
42	専決処分承認を求めることについて	報告2	令和元年度富士見市一般会計繰越明許費繰越計算書について
43	専決処分承認を求めることについて	報告3	令和元年度富士見市都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書について
44	専決処分承認を求めることについて	報告4	令和元年度富士見市都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書について
45	専決処分承認を求めることについて	報告5	令和元年度富士見市水道事業会計予算繰越計算書について
46	富士見市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	報告6	令和元年度富士見市下水道事業会計予算繰越計算書について
47	富士見市税条例の一部を改正する条例の制定について	諮問2	人権擁護委員の推薦について
48	富士見市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	陳情3	富士見市議会でも新型コロナウイルスに最前線で奮闘する「医療従事者に対し敬意と感謝の意を表す決議」の採択を求める陳情
50	富士見市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	議10	富士見市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
51	富士見市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	議12	医療従事者をはじめとするエッセンシャルワーカーに対し敬意と感謝の意を表す決議について

*「報告」については採決の対象ではありません。
○賛成 ×反対

賛否の分かれた議案等

議案番号	議案等の名称	審議結果	21・未来クラブ											草の根		公明党		日本共産党		維新	伊勢田 幸正	
			佐野 正幸	吉原 孝好	上杉 考哉	田中 栄志	尾崎 孝好	斉藤 隆浩	関野 兼太郎	村元 寛	加賀 奈々恵	勝山 祥	今成 優太	津波 信子	深瀬 優子	加藤 清	篠田 剛	寺田 玲	小川 匠			川畑 勝弘
49	富士見市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	富士見市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	令和2年度富士見市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	令和2年度富士見市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願1	狭隘道路の袋小路解消を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
陳情4	新型コロナウイルス感染症への経済対策として消費税減税を求める意見書の国への提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
陳情5	選択的夫婦別姓制度について法制化を求める意見書を国に提出することを要する陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情6	新型コロナウイルス問題に乘じた緊急事態条項明記の改憲に反対する意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議11	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議13	保健所の増設と機能強化を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議14	医療機関の経営危機に対する財政支援を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議15	文化芸術復興基金の創設を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議16	新型コロナウイルスから子どもと教職員の健康と命を守る教育環境の充実を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議17	「新型コロナウイルス」感染拡大による家賃補償や住居のさらなる確保・維持を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議18	持続化給付金や雇用調整助成金のさらなる利用促進を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

※表中、会派の「絆」は市民の絆 「維」は日本維新の会を省略表記しています。 ※表中、議案番号の「議」は議員提出議案です。 ※議長は賛否の表明は議長を除く議員の賛否が同数の場合のみです。



他の街に無い魅力があるか?

吉田 英生

今の富士見市には、他の街に無いような人を引きつける魅力はあるか?その答えは残念ながらNOです。では将来の富士見市はどうか?その答えもYESとは言い切れません。本紙で市議会議員の皆様の活動が紹介されていて、大変頑張って頂いていることは理解するものの平凡に思えます。その殆どは他市と似たり寄つたりの政策に思えます。人を引き付ける街の魅力は、相対的なもので、仮に10年後の富士見市の魅力が20%UPしても他市も20%UPしたら、結果±0です。また、街の魅力は、生活の利便性と反する場合があります。例えば誰でも知っている有名観光地では、不便さを我慢して景観を守っています。そのため当初は、反対意見も多数が良かったと思える魅力ある街が創られました。市長と議員の皆様には、目先の反対を恐れず長期的視野で他市が追随できないような将来構想を提案・実現して頂きたいと思

6月定例会議案審議報告
 議案第55号
 令和2年度富士見市一般会計補正予算(第3号)
 (賛成多数可決)
 既定の予算から4億4313万6000円を追加し、予算の総額を48億7932万3000円とするものです。
 《主な内容と金額》
 国が推進するGIGAスクール構想に伴う情報通信ネットワーク環境を整備するための補正「3億491万円」

請願・陳情審査報告
 《建設環境常任委員会》
 陳情第4号
 新型コロナウイルス感染症への経済対策として消費税減税を求める意見書の国への提出を求める陳情 (不採択)

陳情者 熊倉 明 (外29人)

議案第38号
 工事請負契約の締結について
 「市立勝瀬小学校大規模改造建築工事(第2期工事)」
 (全会一致可決)
 《請負業者・請負金額》
 株式会社大嶋技建
 「3億3841万2800円」

議案第39号
 工事請負契約の締結について
 「市立西中学校大規模改造建築工事(第1期工事)」
 (全会一致可決)
 《請負業者・請負金額》
 斎藤工業株式会社埼玉西営業所
 「2億8559万8500円」

議案第59号
 工事請負契約の締結について
 「市立健康増進センター空調設備及び給排水管改修工事」
 (全会一致可決)
 《請負業者・請負金額》
 埼玉設備工業株式会社
 「1億9157万1600円」

議案第62号
 工事請負契約の締結について
 「幹線道路整備工事(富士見橋通線第2工区)」
 (賛成多数可決)
 《請負業者・請負金額》
 島田建設株式会社
 「5億9620万7040円」

陳情者 戦争させない!オー
 ル富士見実行委員会
 代表 小倉 洋一

陳情者 小野 和春

陳情者 小野 和春

陳情者 小野 和春

陳情者 小野 和春

編集後記



コロナ禍の中、医療関係者を始め、社会生活を維持するために奮闘している皆様方に、敬意と感謝を申し上げます。市議会でも新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から傍聴の自粛をお願いするとともに、多くの議員がコロナ関連の質疑・質問を行い、市民の皆様への今後の支援策を含め、市の考えを質しました。なお、本議会日よりですが、今号より紙面を刷新いたしました。今号も見やすい紙面づくりに努めてまいります。

意見書(要旨)

選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書
 現代においては、婚姻前に個人名で信用・実績・資産を築く人が増えている。改姓によつてこれまで築き上げたキャリアに断絶が生じる例や、法的根拠のない旧姓の使用で不利益・混乱が生じる例もあり、それを避けるために結婚を諦める人、事実婚を選ばざるを得ない人が一定数いることは事実である。
 よつて、富士見市議会は、国会及び政府に対し、最近における国民の価値観の多様化及びこれを反映した世論の動向を鑑み、各方面に配慮しながら丁寧な議論を進めた上で、民法を改正し、選択的夫婦別姓制度を法制化することを求める。
 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
 提出先
 衆議院議長 参議院議長
 内閣総理大臣 法務大臣
 総務大臣